

応募者名	軒先株式会社	分野	交通、物流
取組名称	歴史ある花火大会を守れ！デジタル×アナログ融合で運営負担軽減	取組地域	山梨県市川三郷町

概要	
取組内容	人口1.5万人弱の山梨県市川三郷町で開催される神明の花火には毎年30万人ほどが来場することで町の交通が混乱する。これには駐車場をオンライン予約制にすることで、駐車場を確保するための車両や、町内を周回する車両による渋滞を緩和。また当日早朝からの来場がほぼなくなり、開門時刻を遅らせることができたため駐車場運営のスタッフ負担を大幅に軽減している。一方で当日不足する駐車場を常時的に確保することも難しいことから、軒先パーキングのシェア駐車場システムを利用。民間の敷地も有料駐車場としてオンライン予約制にし、交通の分散化に成功している。オーナーには利用料を還元する形で経済効果もある。
実績や効果	対象年 民間駐車場の拠点数と台数／ 軒先が運営した駐車場の拠点数と台数 2022年 22拠点808台／ 8拠点412台 2023年 59拠点931台／ 17拠点1557台 2024年 81拠点1473台／ 18拠点1404台（※大会前日の降雨のため河川敷駐車場の募集台数を大幅減）
取組全体を通じて訴えたいポイント	開催自体危ぶまれる大会も多い中で、本取り組みがデジタルを活用しつつアナログ（設営・運営などに協力）も融合して主催者負担を軽減している点。デジタルが苦手なオーナーも貸出しできるようオフラインの申込みも受付。誰一人取り残されないデジタル社会を実現し、歴史ある花火大会を守るための取り組みに貢献している点である。

詳細	
地域の課題解決・魅力向上	駐車場予約および決済をオンラインにすること、およびシェア駐車場（一部を除きほぼ無人運営）システムを民間にも導入することでオーナーの負担なく空地などの遊休地を活用。 また、当日運営スタッフの一部を現地採用し、シルバー人材も活用することで地域の活性化や経済効果にも貢献している。
独自性・先進性	軒先パーキングはインターネットを利用した駐車場シェアサービスであるが、単なるシステムの提供に留まることなく、持続可能な花火大会運営のために駐車場の設営・運用計画・当日の運営などを請け負うことでデジタルのみに固執せず、主催者の経済的負担やスタッフの精神的負担の軽減を実現している。
持続性・発展性	導入拠点を増やすほど交通諸課題が緩和、主催者負担は軽減、経済効果も高くなるため主催者、来場者、住民すべての方にメリットある取り組みで今後も導入規模を拡大する予定である。導入に初期費用はなく、駐車場利用による成果報酬で運営委託費が発生するため主催者やオーナーも始めやすく、紹介などによる導入拡大も見込める。
他地域への横展開	長岡花火（新潟県長岡市）、大曲の花火（秋田県大仙市）など2024年までに24団体との取り組みがある。2025年に既に導入が決定している地域もあり、他社にはない弊社独自の取り組みに興味を持っていただいている自治体も多く、イベント規模や開催エリアを問わずその地域にあった対応をさせていただいている。
取組を進めるうえで苦労した点	地元で民間から駐車場を集めるのが大変であった。 東京の知らない会社に駐車場を貸すこと、登録さえ済めばほぼ手放しで利用料が振り込まれること（成果報酬なので利用があった場合のみオーナーへ支払いが発生。）に懐疑的な方が多く、導入当初は詐欺などではないことを理解していただくことが大変であった。
取組の成果を上げることが出来た秘訣・工夫	地域の課題をよく拝聴し、その地域がもつ資源を活用しながら各々の事情を考慮したシステムの導入や民間駐車場集め、設営・運営フォローの方法などを心掛けた。システムの仕様や枠組みに囚われない柔軟な考え方で、まち全体で課題に取り組み、またデジタルが苦手な高齢者でも駐車場貸し出しができるよう配慮した。
今後の展望	日本には花火大会の他、お祭りやお花見など歴史ある催事やイベントが多くある。日本人だけでなく世界から多くの方々に安心して来場していただける環境づくりに貢献するとともに、それらのイベントが栄えり持続可能なものとなって主催者の方々のお役に立つ取り組みができるよう尽力したいと考えている。